

日立市民文化遺産を写真で巡る旅 II（前編）

中部地区	日立市民文化遺産	ページ
中部地区1	平和通りのサクラ並木	2
中部地区2	日立シビックセンターと科学館・天空劇場	5
中部地区3	小平記念館(創業小屋)	8
中部地区4	助川下町弁財天社	10
中部地区5	鹿島神社の旧助川西上町舞屋台	11
中部地区6	助川小学校五代桜	12
中部地区7	助川山市民の森	13
中部地区8	助川海防城跡	14
中部地区9	金山百観音	16
中部地区10	日立セメント架空索道	17
中部地区11	助川ささら	20
中部地区12	会瀬ささら	22
中部地区13	助川一里塚	26

中部地区1 (神峰町、鹿島町他) 平和通りの桜並木

平和通りは、昭和26年12月に開通し、植樹帯にソメイヨシノが植えられました。その桜は、かみね公園の桜と共に平成2年、日本の「さくら百選」の1つに選ばれています。



大煙突



日立さくらまつり

雪の平和通り

桜が植えられた昭和26年頃の平和通り



2014..2.4撮影



風流物とささら



日立さくらまつり



目次へ



さくらロードレース



目次へ

中部地区2 (幸町1丁目)

日立シビックセンターと科学館・天球劇場

日立シビックセンターは、**20周年を記念して**、天球劇場、次世代最新鋭プラネタリウムシステムの導入を図って**大きくリニューアル**され、常設展、企画展など開催されています。



[目次へ](#)



天空劇場

プラネタリウム内部



シビックセンター内



科学館



サイエンス
ショーなど



目次へ





イルミネーション



[目次へ](#)

中部地区3（幸町3丁目） 小平記念館

小平記念館は、日立製作所創業者である小平浪平の偉業と創業の志を後世に伝えるため、日立事業所内のおだいら台に建てられました。



日立製作所日立事業所
5馬力モーター



創業小屋

(おだいら台)



創業小屋の跡



日鉱金属(株)大雄院事務所前駐車場



創業小屋復元の記
日立製作所の発祥は、今から四十七年前、このより北約四軒の地点にある大雄院の村大雄院、日立鉱山事務所のある、大雄院工場である。この四軒にも、創業の小屋で、二〇〇馬力モーター、一〇馬力モーター、一〇馬力モーター、五馬力モーター、三馬力モーターが製作された。日立創業の父小平五平が建てた。高屋五三郎、高橋善九、三野俊雄、飯村四郎、岡本之介、正に全圖上記は、関係者、田舎を新らし、復元によったものである。
昭和三十一年十月
小平五平前記念会



1トン爆弾弾痕



目次へ



当時の日立鉱山電気機械修理工場

中部地区4 (助川町1丁目) 助川下町弁財天社

助川下町弁財天社は、**市役所の南側**にあります。かつては、このあたり一帯は**ため池**であり、その池のほとりに祀られていました。



弁財天は七福神の石柱



[目次へ](#)

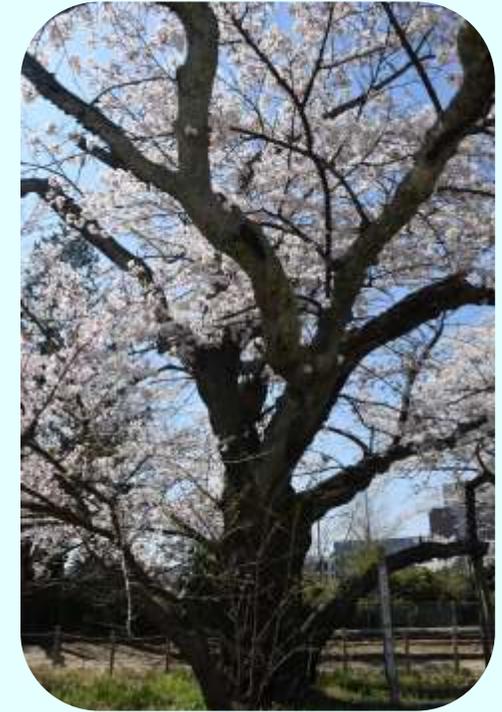
中部地区5 (鹿島町2丁目) 旧助川西上町舞屋台

旧助川西上町舞屋台は、江戸時代、助川鹿嶋神社の祭礼に奉納されました。現在は助川鹿嶋神社の宵祭り、祭りを盛り上げています。(市指定工芸品)



中部地区6 (助川町2丁目) 助川小学校五代桜

助川小学校校庭に日露戦争の戦勝記念として数本植えられた。そのうちの1本が「五代桜」です。



明治・大正・昭和
和・平成・令和
の5つの時代を
生きる



中部地区7 (助川町、成沢町) 助川山市民の森

助川山市民の森は、平成3年3月に起きた林野火災の後、日立市が買い取って整備した自然公園です。



中部地区8 (助川町5丁目) 助川海防城跡

水戸藩第九代藩主**徳川齊昭**は、水戸藩の家老職であった**山野邊義観**(よしみ)を海防惣司に任命し、高台で海が一望できる助川を海防の拠点としました。当時は、「**助川館**」と呼ばれましたが、元治元年に**天狗諸生の争い**で焼け落ちました。



表門礎石跡



遠見番所跡

県指定史跡



本丸館跡



尊王攘夷
の碑

助川小学校
大手門跡



助川城跡公園



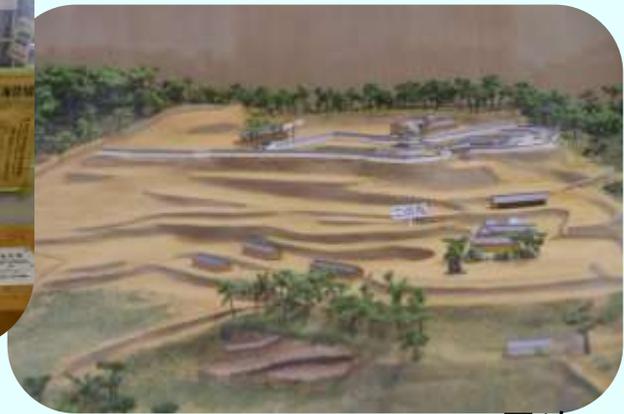
(子弟の教育の場)



養成館跡



助川海防城模型



(助川小学校所蔵)



山野邊義観が愛した鳩石



中部地区9 (助川町) 金山百観音

金山百観音は助川町金山の高鈴ハイキングコース途中にある**観音石仏群**のことで、石仏が60基ほど建っています。**謎の多い石仏群**です。



高鈴山へ

観音巡礼がこの地に集約された形になっている



十一面観音石仏(中央)



観音石仏は西国30番、秩父24番、坂東1番のみ



目次へ



中部地区10 (助川町、諏訪町) 日立セメント架空索道

日立セメント所有の架空索道は、日本で唯一稼働している**産業用架空索道**で、諏訪町の太平田鉦山から山根貯石場まで**石灰石**を輸送するための施設でした。



助川山展望台からの展望



平成31年3月
で長い歴史に
幕を閉じました。

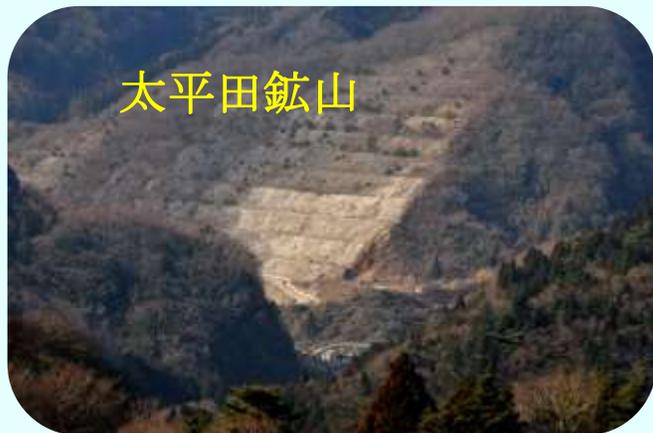




採石場

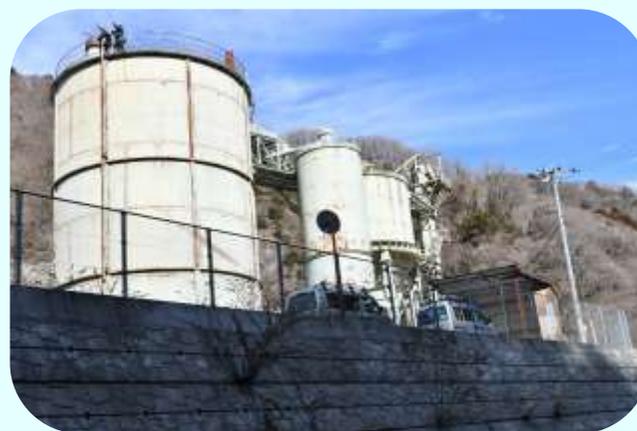


石灰石積み込み場所



太平田鉱山

太平田鉱山



平成30年4月27日撮影

助川山ハイキング
コースから



日立セメント



ベルト
コンベア



6号バイ
パスから



目次へ

市役所前通り



中部地区11 (鹿島町2丁目) 助川ささら

助川ささらは、獅子とあさぎ色浜ちりめんの大黒頭巾をかぶった「しゃぐま」3, 4人で構成され、助川鹿嶋神社の祭礼時、また、七年に一度の神峰神社大祭礼で奉納されます。

日立さくらまつり



令和元年神峰神社大祭礼





令和元年神峰神社大祭礼



目次へ

中部地区12 (会瀬町2丁目) 会瀬ささら

会瀬ささらは、神峰神社大祭礼と会瀬鹿島神社の祭礼で獅子舞を奉納しています。
ささらは獅子、しゃぐまの構成で、しゃぐまはとんがり帽子状の陣笠をかぶり、浜特有のテンポが速く、きびきびした威勢のよい動きです。



会瀬鹿鳴神社





神峰神社



渡御行列



会瀬さら

令和元年神峰神社大祭礼



浜の宮



助川鹿鳴神社

会瀬2丁目





会瀬さら

平成17年の神
峰神社大祭礼



[目次へ](#)

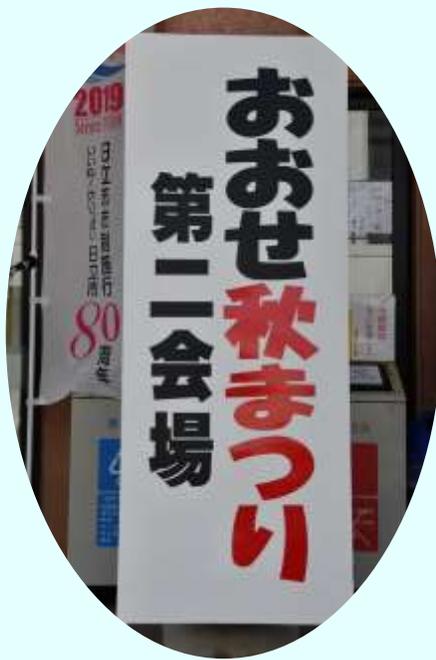


2005.5.3撮影

会瀬交流センター



令和元年



2019.10.20撮影



目次へ

中部地区13 (鹿島町3丁目)
助川一里塚



助川一里塚は、日立第二
高等学校北門と国道6号を
挟んだ助川小学校正門付
近にあったと伝わっていて、
日立二高浜木綿(はまゆ
う)館裏に一里塚跡の石碑
が建っています。



日立二高
北側入口

